



12/18 門松づくり、新しい年を迎える準備が整いました



12/11

しめなわ  
**『注連縄づくり』**  
わらよ  
**藁に撚りをかけながら編ってゆく**  
な  
**伝統的な注連縄づくりです。**

おもな内容

- ・新年のご挨拶 …p1~2
- ・今年の干支卯年生まれ …p3~4
- ・大湫神明神社の大杉に心を寄せて …p5~6
- ・おもかげのうつろい …p7~8
- ・瑞浪市市民美術展 …p9



# 謹賀新年

## 新年に思う

明けましておめでとございます。

今年も最初の言葉が新型コロナウイルス感染症になってしまいますが、年末にかけ第八波が拡大し未だ終息の兆しが見えない状況が続いておりますが、最近では行動制限まではされない状況で推移しており、少しずつ新しい道が見つかりつつあることが実感できるようになってまいりました。

しかし、身近なところで感染の声も聞こえてきています。皆様方には油断しないで感染予防に努めていただき新年が良い年になりますことをお祈り申し上げます。

昨年は、「大杉保存活用事業」が完成し盛大に完成式典を行うことができました。改めて町民の皆様、事業を支援していただきました多くの方々、工事関係者の皆様にお礼申し上げます。町のシンボル、町民の心の拠り所として大切に保存してまいります。

又、コロナ禍で多くの事業ができなかつた中で、町内の若手「ててて」チームが地域の担い手として町の事業に率先し、中心になつて様々な催しを計画実施していただいたことに感謝いたします。今後の町の在り方に一石を投じていただいたと感じております。

大湫町ミライ総合振興計画では三十年先も「大湫町が大湫町として存続していること」を目指して十年ごとに地域の将来像を明らかにし、その実現に向けた取り組みを示します

その中でも「子育て支援」「移住定住者の受け入れ」「高齢者等の支援」「地域運営体制の見直し」が最優先課題ではないかと考えたとき、大きな成果が出ていると思います。今年もぜひ率先して参画していただきたいと期待しております。

今年もコロナ感染症、地球温暖化、ロシア・ウクライナ問題、経済不安等々、世界規模での不安定は予想されますが、日本国内、特に当地域が安らかな年になることを願い新年のあいさつとさせていただきます。

大湫町コミュニティ推進協議会

会長 小栗 司



## まちづくり活動の拠点

### みんなの大湫公民館

公民館長 足立 亘

新年明けましておめでとうござい  
ます。本年も楽しい公民館活動をみんな  
で企画・実行して参りましょう！

コロナとの付き合いも四年目を迎  
え、ウイズコロナ「コロナウイルスと  
ともにどう生きていくか」が問われる  
時代となりました。三密回避やマスク・  
消毒など、基本的な衛生管理を心掛け  
ながら、それでも祭礼や文化行事など  
私たちの社会生活を支えてきた人々の  
営みを再開していくことが求められて  
います。

ワクチンや飲み薬など医薬技術の進  
歩に期待しながらも、社会生活の取り  
組みについては、私たち自身の工夫と  
努力で克服していくべき側面も多いと  
思います。

新年度に向けても、公民館講座をは  
じめ、夏祭り・文化祭芸能の部など、  
町内恒例行事を再開していきたいと思  
います。

また、本年は大湫公民館の大規模改  
修具現化の年となります。今後とも実

りあるまちづくり活動を展開してい  
ただく拠点となるよう整備充実して参  
りますので、ご支援ご協力のほどお願  
いいたします。

令和5年が、皆様おひとりお一人に  
とって飛び跳ねる兎のような飛躍の年  
となりますようご祈念申し上げます、年頭  
のご挨拶といたします。

### 謹んで新年のご挨拶を

申し上げます

丸森施設長 向井一峰

令和五年の丸森のテーマは『大湫ル  
ネサンス』。大湫宿の復興です。

大湫宿の最大の観光資源であった  
『大湫神明神社の大杉』が倒木被災し  
て既に2年半。町民にとっては、まさ  
に痛恨事でありました。しかし、その  
ことよって大杉の名声が衰えること  
はありませんでした。逆に、大湫宿の  
知名度も大きく上がりました。今でも  
境内に復活した大杉のモニュメントを  
見物に来るお客様は絶えません。御神  
木の所以です。

今ここで立ち止まることなく、さら  
に関連企画を継続していくことが、大  
湫町の活性化に大きく貢献していくこ  
ととなり、同時に大湫宿丸森の運営と  
活用にも重要なこととなるのではない  
でしょうか。

また、流行が始まって4年目となる  
新型コロナウイルス。「エビデンス」。  
国や県、瑞浪市の感染拡大防止対策マ  
ニュアルに従った慎重な業務の運営を  
しながらも、同時に、落ち込んだ来宿  
者数の回復を目指す必要があります。

「丸森」は、国登録有形文化財であ  
り、旧中山道大湫宿の風情を残す貴重  
な建造物です。文化財としての丸森の  
保存・公開を基点として、大湫宿の自  
然や歴史、年中行事や人々の暮らしな  
どを紹介していきます、それらを活か  
した各種の活用事業を企画することが  
より一層の観光客の誘致にもつながり  
ます。お客様のニーズを見極め、求め  
られる情報をリアルタイムで発信して  
いかなければなりません。

『大湫ルネサンス』。大湫町、大湫宿  
の復興と活性化のサクセスストーリー  
です。



## 今年の干支・卯年生まれ

### ウサギと卯



#### 奥村 とし江

卯年生まれの私は、幼少期に実家で白いウサギのつがいをとても可愛がっていました。

当時は初めて「生命の誕生に立ち会う」事が出来、今でも記憶に残りウサギのご縁があったと思います。

今回「今年の抱負」との事ですが、たった一つだけ、大湫に嫁いだから今も続けている事があります。それは、家族の出勤や孫娘の通学の見送りです。気が付けば私の日課となり毎朝「気を付けて行ってらっしゃい」と手を振り気持ちを声に出しています。夕方に何事も無く無事に帰宅して「ただいま」の一言が私にとって幸福の一時です

出掛ける家族の邪気を卯(ウサギ)の後ろ足で蹴飛ばしていたのかも知れませんね。

これが今年の抱負になるかわかりませんが、私の今年の「抱負」としたいと思います。

### 卯年生まれ

#### 植村 準



新年を迎え、今年還暦に。いよいよ人生区切りの年となりました。

仕事もひと段落し、わずかな趣味に家事や畑仕事、そして地域貢献、新しい生活スタイルをどうしていこうか楽しみでもあります。

新たな出会いも含め、今年一年を第二の人生のスタートとして有意義な年になるよう努力したいと思います。

### 年男

#### 小栗 和明



昭和26年4月21日生まれの兎年、6巡目となります。

戦後6年生まれということ、幼少の頃は、着るものも、食べるものも十分に

はなくて、病気見舞いは、卵か果物の缶詰め、ご飯は麦入り飯、おやつは「こがし・大麦を炒って挽いた粉」とか、山の木の実(あけび、山ぶどう、グミ、うしの○○○○)、など食べていました。水は井戸水、風呂焚き・調理は薪火、テレビは家に無くてラジオのみ、洗濯機、冷蔵庫は無く、テレビは公民館か、お寺に見に行っていました。各家には農耕用の黒牛を飼っていたことを思い出します。

また、お祭りの日には、小遣いをもらって、「うら店」「たかさ」「若竹や」へ、おもちゃ(カチン玉・パンパン・カミカシ鉄砲など)や、駄菓子を買いに行くことがメチャうれしかったこと。

故 安藤秋義さんが上映してくれる映画を公民館へ見に行くことが楽しかったこと。

昭和34年9月26日(土)伊勢湾台風が襲来し怖かったこと(当時8歳・小学校2年生)。

大湫釜戸間にバスが開通し大喜びしたこと、(この時、将来自分がマイカーを持って運転するなんてことは夢にも思わなかった)。

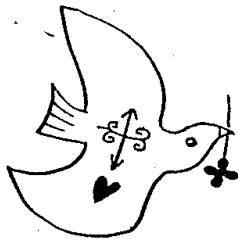
それから時代が移り、まさかの大湫小学校の廃校。

近々では神明神社の大杉が倒木し大きなシヨックを受けたことなど、次々と限りなく思い出されます……。

幼少の頃のものが十分で無い時代から、何でも揃う裕福な便利な時代まで72年間生きて来て、今一番思うことは、戦争を知らずに生まれ、戦争を知らずに育ち、戦争に行かなくて済み、戦争の無い平和な時代を生きてこられたその事が何よりありがたく、幸せだったということです。

両親から戦時中の辛くて苦しかった体験談を聞いておりましたので、なおさらそう思います。

これからもずっと戦争の無い平和な穏やかな生活が続くよう、よみがえった神明大杉と一緒に祈りながら見守っていききたいと思えます。



## 卯年生まれ

小栗 志げ子



今年の冬は寒さが身にしみみます。

最近ペンを持つ事も少なくなり文章なんてまったく縁がありません。

卯年の私ですが、この年まで大きな病気もせず生きて来れたことに、まず親に感謝です。

私の母は、弟を産む時24歳で半身不随になりました。でも愚痴一つ言わず私達を育ててくれました。母の様な人に少しでも近づけたらいいなと思います。

大湫に嫁いで最初の冬に大雪が降りました。でもどうしても実家が恋しくて帰りたくて車を走らせていたら、釜戸道の側溝にタイヤを落としてしまいました。泣けました。でもその時、地域の方に助けていただき、その時の有難さは忘れません。

今は義理の両親を送り二人の生活ですが、近くに孫達や友達がいて、これまでにいろいろあったけど今が一番幸せです。

楽しく元気な日が一日でも多い事を

願います。

## 区切を前に思う事

小栗 保理恵



子供は手を離れ、仕事では60歳で線引きされる。

それは、体力の衰えに対するものとしたら、この先の時間を、家や自分のために使いたい。

ありがたい事に親の面倒も見させてもらっています。

仕事や、受け継いだ土地の管理を考えると、やる事は山積み。とはいえ、やはり体は正直で夕方には、あちこち動けなくなり、作業は思う様にはかどっていかない。自分の時間はいつの事か。

先の事はわからない、自分も社会も：お金も必要だが、今しか出来ない事を優先に、私の卯年は決めて生きていきたいと思えます。



# 大湫神明神社の大杉に心を寄せて

## ぎふ木育協会

安藤 厚子

紅葉が映え、抜けるような青空の下、「大杉音元」イベントが盛大に行われました。

実行委員会の皆様、関係者各位の皆様「大杉音元」イベントの成功おめでとうございます。

私にとりましては、今回ぎふ木育協会として、木育プログラムを実施するという形で、このイベントに携わらせていただけましたことは、大変光栄であり、人生の宝物となりました。

思い起こせば2020年7月11日、樹齢1000年とも1300年とも言われていた大湫神明神社の大杉が、豪雨で倒木したという衝撃的な事実を、私は、テレビ報道で知りました。

雷に撃たれたような衝撃を受けた私は、その勇姿を一目拝見したいと思い、数日後、岐阜から大湫に足を運びました。これが、大湫神明神社の大杉と私との初めての出会

いでした。

私は、大杉のとてつもない大きさに圧倒されました。と共に、傷を負い根っこがむき出しになって横たわっているあまりにも痛々しいその姿に、言葉を失いました。

その後、カメラを向け写真を撮ってみました。すると、その痛々しい大杉の上に、なんと肉眼では観られなかった神々しい虹が掛かっているではありませんか。私は、この大杉が、希望に満ち、木材となって人に喜ばれる物に生まれ変わる決意と自信を持って横たわっているように見受けられ、鳥肌が立つような感動を覚えました。

その頃、地元の若手「ててて」さんは、大杉に対する想いを結集し、「大杉音元」のイベント開催を検討されていました。

2022年5月末、岐阜県林政部の紹介を通して、実行委員長の棚橋様よりぎふ木育協会に、木育ワークショップの依頼がありました。

願ってもいないチャンスに恵まれた私は、このご縁に導かれ、イベント会場の現地視察に伺いました。すると、あの大杉が復活され、神明神社の境内に新しい姿で立派に

鎮座されているではありませんか。黄金のような輝きを放ち、その迫力の凄いこと。

思わず木肌を撫でた私は、生まれ変わって新しい命を吹き込まれた大杉が、姿を変えて今後も私たちを優しく力強く見守ってくれることを確信しました。

大杉の一部を頂いた私は、この大切な命を頂くお許しをこう為に、お供え物をして自分なりに御祈願をしました。そして、どうしたらこの樹齢670年の凄さを伝えることができるのかを検討し、日本伝統工芸員の方に柱目に製材して頂きました。そして、広く多くの方と分け合えるワークショップ「樹齢670年の宝物（大杉ストラップ）を作りましょう」を行わせて頂くことにしました。

当日ワークショップを訪れた方々には、この樹齢670年の大杉を紙やすりでこすって、何ともいえない崇高な香りを嗅いでもらいました。また、これまで見たことのない数えきれないほど細かな年輪を目で観て、ツルツルになった木肌を手で触って、鈴を付けることで音も聴いて五感で楽しん



でももらいました。こうして樹齢670年の大杉の一部は、ストラップとして生まれ変わり、普段使っているカバンなどに付けてもらうことで身近に感じてもらいながら、宝物として大切に扱ってもらえることになりました。

大杉の倒木は、本当に残念で悲しい出来事でした。しかし、このことをきっかけに、将来を担う子どもたちは、倒木した大杉を何とか再生したいと立ち上がった大人たちの熱い想いを知ることができたのではないのでしょうか。そして、いつかは倒木することも視野に入れ、前もって大杉の種から苗木を育てていたり、倒木した時の木の枝を挿し木にして育てていることにも、子どもたちに興味関心を持ってもらうことができただのではないかと思います。

この苗木とともに一緒に育っていった子どもたちが、大人になった時、次世代の子どもたちにこの大杉のことを語り継いでいくてくれることを心から願っています。

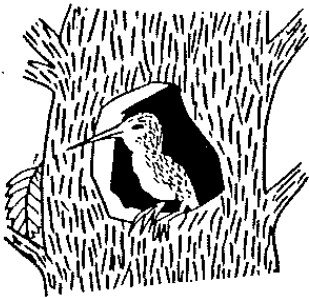
5月末に現地視察に伺った時に、心を痛めてみえる大湫の皆さんに少しでもお役に

立てればと思い、僭越ではありますが、2020年1月に自費出版した絵本「どんぐりの木とこうちゃん」を大湫の皆さんにお送りしました。期せずして図らずも、大杉が、皆さんに伝えたかったメッセージを代弁しているかのような内容の絵本です。今後図書館などにおいてももらえるとのこと。大湫の皆さんに喜んで頂ければ幸いです。

最後になりましたが、今回樹齢670年の大杉の倒木を見事に復活させた大湫の皆さんに心から敬意を表します。

そして、あの時大杉にかかっていた虹のように、大湫の皆さんの希望に満ちた未来にエールを捧げます。

貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



## 公民館講座 「黒豆餅作り」

おいしくて栄養もある黒豆餅作りをしませんか。

日時：令和5年1月30日(月) 9:00~

場所：ふれあいセンター

参加費：500円

材料費：700円

申込締切：1月16日(金)



申込・問合せ 大湫公民館 ☎63-2360

佐藤 壮馬

Soma Sato

大湫大杉が倒れたことを知り、初めて大湫を訪れたのは2020年の秋でした。地域の方々が今後の方向性を模索し、大杉がまだ地に横たわっていたあの時からすでに2年の月日が経過しました。大杉の幹部分が新たなかたちで神社境内に設置され、3年ぶりに例大祭が行われるとあり、実際にはまだ見ることができていなかった大杉を見るために北海道から赴きました。

私は芸術作品を作る活動をしています。神明神社の大杉が倒れたことを主なモチーフにし、2020年から向き合ってきた作品を2023年春に展示する予定です。例大祭へ訪れた際に、使用用途の決まっていない大杉の残片があることを知り、作品に使わせていただくことになりました。その時に、私が誰なのか、何をしているのかを広報大湫で書かないかというご要望を受け、綴らせていただいております。

私は北海道で生まれ、住宅分譲地として開発が始まった土地で育ちました。幼児期の写真を見返すと、広大な野原に家がポツンポツンと立っているような景観でした。厳しい冬の気候を考慮した建物が区画に沿って並ぶそれらに、当時の私は疑問を抱いていました。自身に与えられた日本人としてのアイデンティティと、景観が持つそれらとのズレがその感覚を生んだ要因の一つかもしれないと、今かえりみて思います。

外に出て生まれ育った環境を客観的に眺めたいという思いから、東京で約6年、その後、2010年に渡英してから約10年をロンドンで過ごしました。エジプトやメキシコのピラミッドや、イタリアの大聖堂などの文化遺産を3Dスキャンし、デジタルアーカイブするなど、その技術を用いた作品制作などを行うスタジオに参加し、世界各地で仕事ができ、その土地の人々との交流や風土を肌身で感じられる時間がとても幸せでした。それらの経験は私にとっての生涯の財産だと思っています。

2020年になり、ウィルス感染が拡がり、ロンドンでロックダウンの時期を過ごしました。アジア人として生まれた私自身の身体を意識する機会はそれまでも度々ありましたが、その頃は特にそれを考えさせられました。他者による<私>の身体への投影と、その背景にある思考や心の在り方に直面し、何らかの対象を「〇〇である」と信じることへの関心がより強まりました。

この頃、外の世界に向かい続けていた私の好奇心はすでに内的な世界へと向き始めていたのかもしれませんが。自身が根ざす文化とは異なる様々な文化圏で、信仰の対象として時間を超えてきた遺産などを現地で実際に経験し、それらの持つ歴史性や意味に触れながらも、どこかとても離れているような感覚がありました。人生の約半分をすでに北海道を離れて過ごし、英国でのマイノリティーとしての生活が日常となり、故郷を客観的に眺めるまなざしを少しずつ得た一方で、私自身の内にすでに流れている何か強いものを考えさせられる機会がふえていました。





すでに世界全体がコロナ禍に突入していた2020年5月頃、ふと、新たな人生のステップを日本で始めよう、と何故か思ってしまいました。各地を飛び回っていた在り方から、身体を過度に移動せずに〈私〉の底流にあるものに近づくため、人生の時間を設ける好機と感じてしまいました。医療従事者である親族がウィルスに苦闘する中、この考えがとても利己的であったとの反省は今でもあります。ただ、その考えが浮かんでしまっただけからの約1ヶ月間、胃が震えるまでに再考を繰り返しましたが、次なる一步を踏み出すことを決断し、2020年7月に日本で再出発をしました。

当時必須であった入国後2週間の隔離を終え、北海道を拠点に活動を始めて約2ヶ月後の9月、祖父が亡くなりました。悲しさはもちろんありましたが、弔いの儀式に参加できたことは救いでした。もし英国に留まる決断をしていたら、隔離の必要性からも、肌身でその死を感じることは難しかったと思います。かえりみると、祖父と過ごした時間の中に、〈私〉がこの世界に生を受ける以前からの非物質的な連なりがありました。

祖父が他界してから間もないある夜、就寝しようと部屋を暗くし、横になって目を閉じていました。過去の記憶を回想したり、思考を巡らせる中で、信仰の対象として日本各地で見受けられる「御神木」のことが何故か意識にのぼりました。すぐに枕元のノートにメモしたことを鮮明に覚えています。各々がそれを信仰の対象とするか否かはさておき、「御神木」という認識はある一定の普遍性を持った在り方として、日本社会に根を張っているように思えました。

私たちが何かと向き合うとき、心に何かが現れます。それは一体どこから現れてくるのでしょうか？何かが宿るとされ畏怖の念を抱くその思考の型など、それがそうであると信じるその心とは何なのでしょう？

日常において様々な対象と関係性を結ぶ中で、ある対象を〈私〉の内的な世界の小窓から眺め、その残像を忘れかけたふとした時に、それがまた漂います。その対象への関係性を意識的に持っていないということも含めて、明確な意味がわからずとも関係性を持っている対象は数多くあると思います。科学的な因果性や合理性を重要視する傾向がある現代においても、うつろいながら時を超えて流れ着いた様々な日常の実践が、川の流れの中で石がゆっくりと変わるように、私たちの心をかたちづくっています。明治維新以降に開拓が進んだ北海道で生まれ育った私にとっても、祀られている木や、切ってはいけない木など、日常のどこかでその在り方に触れていたのだと思います。そのような経緯から、神籬（ひもろぎ）信仰に心が向き始めました。



また次回、大湫と関わってからの経緯などを綴らせていただこうと思っています。

## 展示情報 第16回 shiseido art egg : 佐藤壮馬展

2023年04月18日(火) - 05月21日(日)

会場：資生堂ギャラリー

東京都中央区銀座8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階

火～土 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00

毎週月曜休（月曜日が祝祭日にあたる場合も休館）入場無料

<https://gallery.shiseido.com/jp/exhibition/5655/>

## 瑞浪市市民美術展

優秀賞（絵画）「おそってきた！」

釜戸小学校2年 宮地 星輝さん

おめでとうございます。

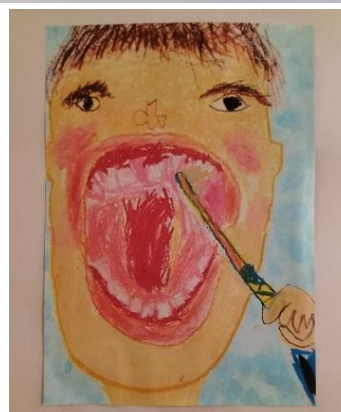


## 瑞浪市健康祭り「歯科保健図画ポスター」

優秀作品

釜戸小学校2年 廣田 駿平さん

おめでとうございます



## 公民館講座 新春「書き初め」

新しい年の抱負をかいてみませんか。

学生は、学校からの宿題の書き初めを、ふるさと先生に教えてもらいかいてみませんか。

どなたでも、久しぶりに筆を持って書いてみたい人は参加してください。

【日 時】 1月5日(木)10:00～

【場 所】 大湫公民館 講堂

【参加費】 無料

【持ち物】 習字道具(筆・硯)

墨汁・半紙は公民館で用意します。



\*汚れてもいい服装又はエプロンを持参下さい。

\* 昨年チラシには、公民館2階会議室と書いてありましたが、

リ・アップ「ひよも」も参加下さることで、講堂に場所を変更いたしました。

\*書き初めの後は、すごろく・福笑い・百人一首・かるたを楽しんでいって下さい。

申込・問合せ 大湫公民館 ☎ 63-2360

# 丸森だより

令和4年12月18日

## 12月、1月丸森企画

### ●丸森特別展示Ⅲ『大湫宿に伝わったやきもの』【10/1～1/31】

\*大湫宿が栄えていたころに用いられたおもてなしの器。瑞浪市陶磁資料館のコレクションより、西森、米屋などに伝わった九谷、伊万里(有田)、さらにはオランダ渡りの大皿などを展示。

### ●『新春を寿ぐ～丸森の餅花～』【12/3～】

\*恒例の丸森餅花を展示販売。

### ●大杉の円空彫りオーナメント、ストラップの寄付頒布。

\*「岐阜円空彫り同好会」「遠江円空研究会」による。



## 12月 大湫宿の行事・出来事・丸森と来宿者

- \*2日 餅花製作、展示。
- \*4日 豊田ウォーキンググループ(20)、一宮グループ(13)
- \*6日 ウォークジャパン(外国人ウォークツアー)(10)
- \*8日 名古屋市歩く会(17)
- \*9日 クラブツーリズム大阪(26)
- \*11日 大注連縄作り
- \*18日 門松作り

2022.12.18.現在

町外		町内		合計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
258	1	96	6	361	2
R4,4月～	5,791	オープンから	46,403	R1 同月比	99.5%

- 現在【大湫町コミュニティー推進協議会 ホームページ】【大湫宿丸森 Instagram、Facebook】が開設されております。ぜひ、フォローして下さい。



HP



Instagram



# せら／お／1月の集まろう会

R5

☆☆太鼓は。。。3月4日(土)午前9時30分～  
練習曲は...「楽」「大杉」「白蛇の泉」と、4ビツ子  
さん向けの「証城寺の狸ばやし」です。歌りな  
がら、出来るし、楽しいよ。お母さん達から、いろんな  
意見をもらいました。  
今まで太鼓を、やってきたお兄さんや、お姉さんと、一緒  
に「やりたいね」など、みなさんに声をかけていきたいと、  
思います。一緒に楽しみましょう。



志多らのメンバーと音元、の練習をしました。大杉から作られた  
「平太鼓」を、ここに披露致します。(4台)。これからも、みなさん  
と一緒に活動していきます。志多らのみばさま、これからも、指導  
よろしくおねがいします。みばさまのおかげです。子どもたちに拍手を!!



## 公民館ロビー展示案内

### 12/1～26 クリスマス飾り

子供達にブーツ型の厚紙を渡し、それぞれ好きな模様を描いたり、色紙を貼ってブーツを作ってもらいました。子供たちの描いた1枚1枚違う楽しい絵のブーツをリボンで吊るして展示。ロビーが華やかになりました。

リ・アップひよもの皆さんにも協力して作ってもらいました。



### 12/5～26 公民館講座『粘土で動物を作ろう』 作品展示

8月の公民館講座『粘土で動物を作ろう』で作った作品を、日吉町の天神窯で焼成、12月4日窯出しをして、ロビーに展示をしました。

それぞれ個性的な作品で、薪窯で灰もかぶり、想像していたよりもいい感じに焼きあがったと喜んでます。天神窯の皆様ありがとうございました。



### 1/6～2/1 書き初め展








1月5日公民館講座『書き初め』で書いた作品を展示します。

皆さんの参加をお待ちしています。子供の学校の習字の宿題をしてもいいし、大人になって久しぶりに筆を持って習字がしたい方、今年の抱負を文字に残したい方、いろいろな思いを文字にしてみませんか。

### 2/7～2/28 モニタリング調査 5年間からの写真展

モニタリングサイト1000(重要生態系監視地域モニタリング推進事業)に環境省が取り組む。2003年から取り組まれる100年の事業。5年間で1期、4期目に「自然保全委員会」が取り組みました。5年間の取り組みの一部を紹介する写真展です。

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも”  <b>《1月のひよもの活動》</b>                  新春『書き初め』に参加                  日時 : 1月5日(木) 10:00~                  場所 : 大湫公民館 講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処  <b>12月~3月までお休みします。</b></p> 
	<p>ご招待券あります                  (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい。)  <b>「浅井礼二郎 遺作展」1枚(2人まで入れます)</b>                  日時 : 11月3日(木)~1月15日(日)                  場所 : 瑞浪市陶磁資料館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本  <b>『空の見つけかた事典』</b> 武田 康男:著 山と溪谷社:刊                  日々、空を見てたくさんの現象を撮影してきた著者。絵本によく出てくるわた雲や、なかには一生のうち一度でも見られればラッキーという現象も載っています。  <b>11月の大湫分室 貸出人数:12人 貸出冊数:31冊</b></p>
	<p>デマンド交通  <b>11月利用者(大湫~日吉東部)</b>                  27便 延べ37名(稼働率22.5%)</p> <div data-bbox="1077 1473 1396 1601" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                 皆さん、たくさん                  利用して下さい。             </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール  <b>1月のパトロール予定者</b>                  上旬 : 渡邊 弘一 : 奥村 研                  下旬 : 加藤 博一 : 桐井 繁</p>

古民家カフェ橋 11月29日~3月上旬までお休みします。





## 区長日記

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は大杉の復興完成式典・神明神社の再生事業完成と大きな事業も皆様のご協力により無事に済ますことが出来感謝申し上げます。

新年を迎えてもコロナの感染は続き4年目に突入しそうな気配です、又、インフルエンザも流行しそうなので皆さんは感染対策をしっかりと自分で身をお守り下さいますようお願いいたします。

大湫景観協議会についてはコロナ・大杉倒壊等で休止していましたが再開致します。1月13日には岐阜高専の生徒の発表と今までの振り返りの会議を開催致しますので皆さんの参加をお願い致します。(別紙・開催通知有り)  
大湫宿の街並・景観保全の為に市の支援を受けて景観計画重点区域指定に向けて皆さんのご理解宜しくお願い致します。

JA陶都大湫事務所の土地・建物については大湫町に無償譲渡が完了しました。今後不具合箇所の修繕を行い、活用方法につきましては町民の皆様のご意見をお聞きした上

で検討してまいりますので、良いアイデアがありましたらご提案下さい。

益々寒くなりますので健康に注意下さい。 加藤

12月2日 定例区長会・幹事会

芸術家佐藤壮馬氏来町(大杉活用) 5日

4日 JR釜戸駅開駅120周年記念清掃

7日 JA・有賀司法書士と打合せ(譲渡手続き)

10日 観音堂枝垂桜剪定・保全作業 11日

11日 公民館注連縄作り

門松製作用材料採り

12日 都市計画課と大湫景観打合せ

18日 門松作り

19日 北区片岡氏引越し 20日

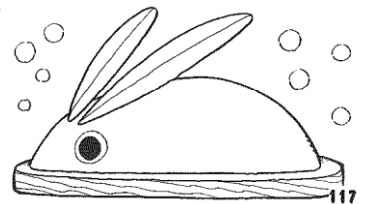
23日 臨時幹事会

28日 消防年末夜警激励 29日

31日 年越しウオーキング・除夜の鐘撞き

二九	二八	一五	一三	九	八	六	五	四	二	一	日
日	土	日	金	月	日	金	木	水	月	日	曜
市議会議員選挙告示	転入対策委員会	西・北区どんど焼き	景観協議会（学生の発表と今後の進め方）	消防出初式 成人の日	足又区・神田区どんど焼き 瑞浪市二十歳の祝典	定例区長・幹事会	丸森仕事始め 公民館講座『書き初め』 ひよも『書き初め』に参加	公民館仕事始め	振替休日	元旦	予定

令和五年一月行事予定



不燃ごみ: 1/12(木) : 資源ごみ: 1/24(火)

編集後記

明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願ひします。

大湫広報は今月で438号を迎えました。  
なんといつてもすばらしいのは、町民の方  
に広報の原稿依頼をお願いすると、ありがた  
いことにほとんどの方が書いて下さいます。  
長年の伝統の手作り感のある大湫広報は  
町民の方の支えがないとできません。  
これからもご協力をよろしくお願ひしま  
す。  
また、何か要望等がありましたら教えてく  
ださい。  
イラストやカット等の広報への参加もお  
待ちしています。



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
令和5年 1月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp>